

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
令和2年11月27日発行
NO. 324

睦中生へ

総括教諭

体育大会という行事を終えて、睦中の生徒はとても輝いて見えました。少ない練習時間でしたが、成果をしっかり出せて、それぞれのクラスとも満足できる形で終わられた生徒が多いのではないのでしょうか。賞のあらないに関わらず、クラス一丸となる良い機会になったように思えます。しかし一方で、うまくいかなかった、失敗してしまったとがっかりしている人を見かけました。(ダメな事ではありません。人生はいつもうまくいくとはかぎりません!)そこで、今回はあえて失敗したときのことについて考えてみます。

人は失敗や失望をした時、気持ちが落ち込んでしまいます。失敗した時に、反省するのか、後悔するのかによって全くその後の人生が変わってしまいます。後悔というのは自分には能力がないと思って、あきらめてしまうこと、さらに挑戦したことや努力をしたことを否定してしまうことです。前向きに失敗を受け止め反省するということは、自分には能力があると考え、どこがダメだったのかを

考え直し、次に向けてスタートすることだと思います。失敗は大きな飛躍をするためのチャンスです。皆さんは成功するために、最大限の努力をし、万が一失敗しても、それを前向きにとらえてほしいと思います。そしてその失敗をステップの踏み台とし、飛躍につなげてほしいと思います。次回はむつみの祭(合唱発表)です。皆さんの素晴らしい歌声を聴けることを楽しみにしています。がんばれ睦中生!



部活動を終えて

7、9月号に「厚愛地区交流戦 2020 を終えて」を掲載しました。今年は大大会や発表の場が例年とは異なり、すべての部活動の3年生たちが、それぞれに特別な思いで引退を迎えたことと思います。その後、引退を迎えた部活動の3年生を代表して、各部の3年生部長に今の気持ちを綴ってもらいました。

美術部

私たち3年生は、3人という少ない人数で活動してきました。入部したての頃は、自分は何を描くべきか、絵にどんな思いを込めてそれをどう表現するか、全員がほとんど分かっていない状態でのスタートでした。ですが、行事の看板などを協力して制作したり、お互いにアドバイスし合ったりすることで、少しずつ自分が描くべきものが見えてきて、夏休みのしおりの表紙絵では、自分が納得できるものを全員が描けました。運動部のように最後の大会はないですが、私たちなりのゴールにたどり着けたと思っています。

作:



吹奏楽部

私たちは、いつもたくさんの方々に支えられていたんだということを感じています。保護者の方々、先生方、心からの応援、いつもありがとうございました。

今年は、コロナウイルスの流行により、私たちが一番力を入れて頑張るはずだった夏のコンクールが中止となり、悔しい思いをしました。先輩たちが繋げてきた素晴らしい結果を私たちも受け継ぐ予定でした。そして、去年、惜しくも逃した東関東大会に出場し、さらに上を目指していこうと思っていました。「もう、みんなで演奏することはできないのだろうか。」悲しみでいっぱい時期もありました。そんな中、演奏する機会をいただきました。体育大会と中文連の発表会です。練習は例年のようにはできませんでしたが、仲間たちとできる範囲でのパフォーマンスを考え、披露することができました。演奏の機会をつくってくださった方々に感謝しています。

三年間、充実した日々でした。

一生の思い出と、一生の仲間が出来ました。



演劇部

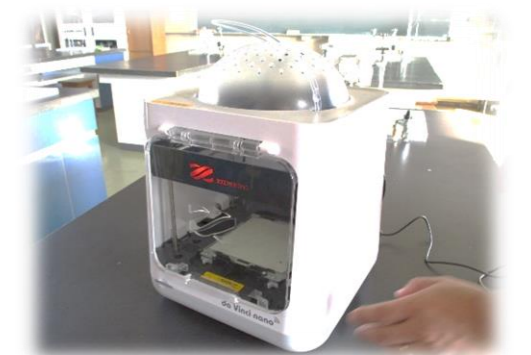
私達演劇部3年は、10月の地区大会で引退となりました。今年はコロナウイルスの影響で練習時間が少なかったのですが、新入部の1年生や顧問の先生、様々な人に協力と応援をいただき、無事3年間の活動を終えることができました。最後の作品は、3年生が協力して書き上げた創作劇でした。終わってみれば、もう少しという思いもありますが、悔いのない活動だったと思います。今まで支えてくださった家族や地域の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



写真自然科学部

こんにちは。写真自然科学部部長の〇〇です。私は、部活の部長を1年のころからやっていた、よく考えたら、2年間部長をやっていました。正直、とても大変でした。しかし、とても部長としてのやりがいを感じることができ、一生懸命部活動を行うことができました。そして、部員とも協力して、みんなで助け合いながら部活をして、とても楽しかったです。

最後に、私は、この部活を3年間やって、とてもやりがいを感じられて、楽しかったので、とても良かったです。



写真自然科学部の活動で使ったことがある3Dプリンタです。

陸上競技部

長いようで、あっという間に2年半が過ぎてしまいました。陸上部の部長としても、1人の中学生としても、この2年半で、たくさんの教科書に載っていないことを学ぶことができました。そしてそして、今まで私を支えてくださった先生方、陸上部員のみんなには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。「部活動」と「陸上」を通して、こんなにも素敵な仲間に出会え、関わることができて、本当に幸せです。私にとって「陸上部」は、間違いなく「青春」でした。

